| | |
|---|---|
| 事例No. | 844 |
| 公表年度 | R1 |
| 団体の属性 | 町村 |
| 団体名 | 和歌山県那智勝浦町 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公共施設管理 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・消防・防災<br>・公共施設活用<br>・公共施設等総合管理計画 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 緊急防災・減災事業 |

事例内容・タイトル

湊地区津波避難タワー整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

# 緊急防災・減災事業 ①

和歌山県那智勝浦町（人口1.5万人）「湊地区津波避難タワー整備事業」

## 事業の概要

- 湊地区（最大３メートルの浸水が想定）の住民が避難するための施設整備
- 那智勝浦町地域防災計画（平成27年度改訂）に位置付け

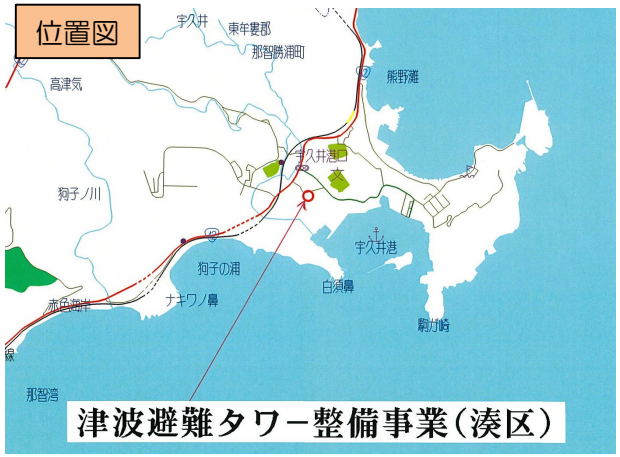
## 整備の必要性・効果

- 平成26年10月に和歌山県より巨大地震等に対する対策案が発表され、町内の海岸部分の多くが津波避難困難地域に指定されており、まずは発生確率の高い三連動地震での津波避難困難地域の解消を10年間で完了させることを目標に対策を進めている。
- 津波避難タワーの整備にあたっては、三連動地震による津波避難困難地域を優先し、構造については巨大地震を基準とした仕様としている。
- 湊地区の沿岸部は、巨大地震発生の際には最大約３．０mの津波が予想され、津波避難困難地域となる。
- 周囲には高台はあるものの、津波到達時間が早いため（巨大地震で約8分）、住民の避難が困難になることも想定されることから、津波避難タワーを建設することにより、住民の安全・安心を確保。

## 施設の概要

総事業費　：46.7百万円
うち緊防債：45.8百万円
高さ：7m、延床面積：54.0㎡、RC構造
その他：100名収容可能
　　防災物資収納ＢＯＸ 3基設置
　　ソーラー照明灯内蔵非常用コンセント

位置図




完成写真

